

# 日本とフランスの YA（ヤングアダルト）小説の今日

## ～アントニオ・カルモナ氏、長谷川まりる氏対談～

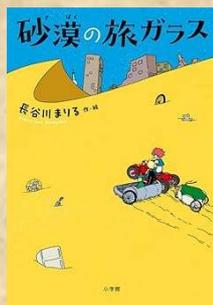
2022年、5カ月ほど京都に滞在し、小説を書き上げたフランス人劇作家、アントニオ・カルモナ氏。日本人の母を4年前になくし、心を閉ざしたフランス人の父と暮らす12歳の少女の心の機微と日本人のおばあちゃんとの交流を繊細に描いた *On ne dit pas sayonara*（サヨナラは言わない）で、フランス最大手の出版社ガリマール社主催の児童文学新人賞を受賞しました。2024年2月の再来日を記念し、日本出身の新進気鋭の児童文学作家、長谷川まりる氏と対談します。日本とフランスのYA小説について、自身が子ども向けの小説を書くに至った経緯など、自由に対談していただきます。司会は立命館大学文学部教授の西岡亜紀氏。



場所：関西日仏学館 稲畑ホール

日時：2月29日 木曜日

午後4時～6時



© Julie Reggiani

### 長谷川まりる Marie-Lou Hasegawa

長野県生まれ、東京都育ち。2018年『お絵かき禁止の国』（講談社）で第59回講談社児童文学新人賞佳作を受賞して作家デビュー。2022年『かすみ川の人魚』（講談社）で第55回日本児童文学者協会新人賞を受賞。2023年刊行の『砂漠の旅ガラス』（小学館）では、挿絵とカバー絵を自ら描き下ろした。小説だけでなくイラストや漫画も発表している。

### アントニオ・カルモナ Antonio Carmona

フランス・ニーム生まれ。マルセイユのコンセルヴァトワールで演劇を学んだ後、パリのピエロ学校でピエロの資格を取得。劇作家となり、子ども向けの劇を多く執筆する。2022年に5カ月ほど滞在した京都で執筆した *On ne dit pas sayonara*（サヨナラは言わない）でガリマール社主催の児童文学新人賞を受賞した。

入場料：無料／定員：60名

対談終了後、サイン会開催予定

日仏逐次通訳付き

主催：立命館大学国際言語文化研究所

共催：関西日仏学館

協賛：小学館

お申し込み方法：関西日仏学館イベントページからご応募ください。

<https://culture.institutfrancais.jp/event/ya2024>